

松尾地区の 地域福祉活動について

～こころと命をともに支えあおう～



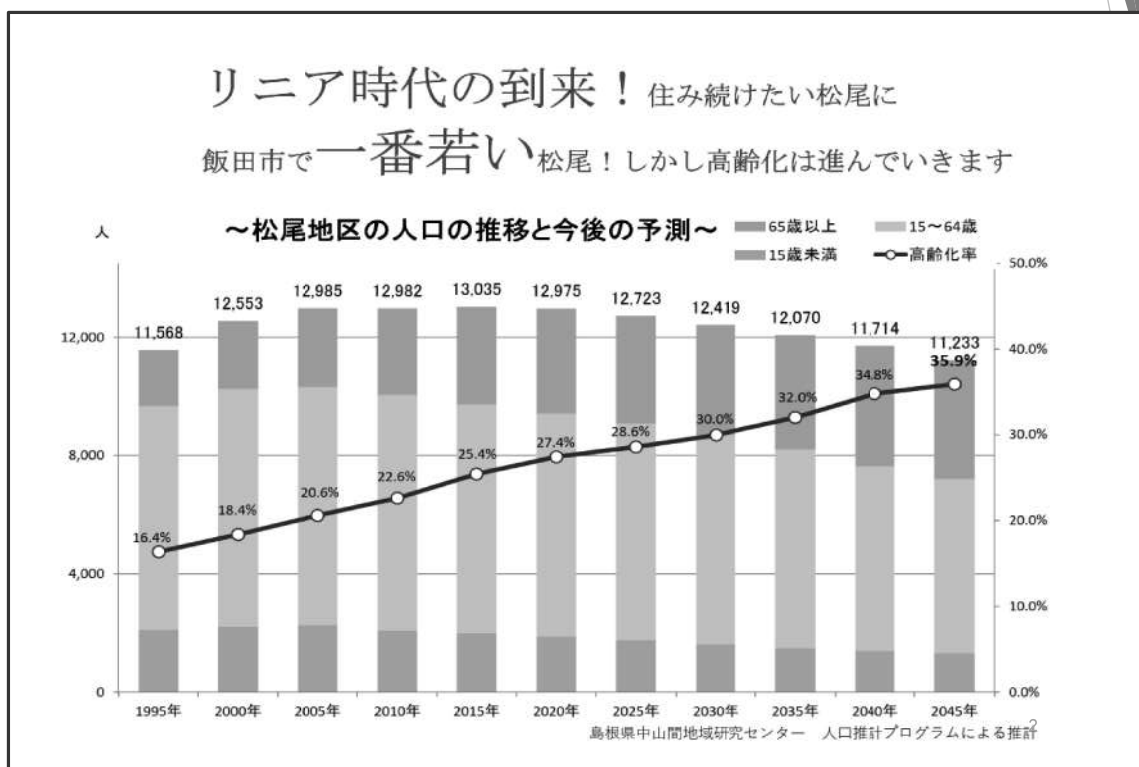
令和5年12月9日 飯田市社会福祉協議会 地域福祉活動推進研修会

松尾地区の概要

(R5.4.1現在)

▶ 人口：12,710人

▶ 世帯数：5,279世帯

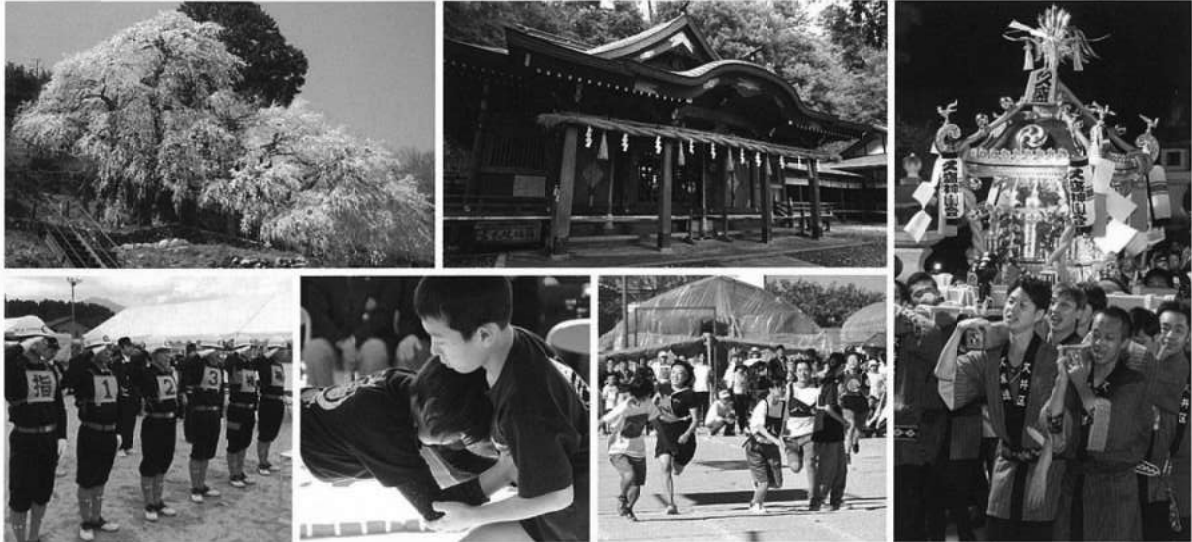




第3次松尾地区基本構想

やらまいか松尾

令和2(2020)年度～令和11(2029)年度



第3次松尾地区基本構想

集

コミュニティ、
まちづくり分野

活

交通、産業、観光
分野

やらまいか松尾

ま

と

ま

り

つ

な

が

り

お

も

い

や

笑顔あふれるまち

住

住環境、自然、
ゴミ、安心、安全、
防犯、災害分野

健

医療、健康、
福祉、スポーツ、
子育て分野

第3次松尾地区基本構想

誰もが安心して住みやすい地域づくりを目指して

健

医療、健康、
福祉、スポーツ、
子育て分野

重点プログラム	10年後の目標
いつまでもいきいきと暮らせる健康なまち	※ 健康寿命の延伸を目指します。 ※健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間のこと。
地域で子育てや介護を支えあう福祉のまち	地域活動や公民館活動に参加する高齢者の数を増やします。幼児から高齢者まで幅広い世代が気軽に集える場所や組織をつくりまします。
こどもが自然の中で自由に遊べる場所づくり	地区内の森や川などの自然の中で、自由に遊べる場所をつくり、体験を通して子どもたちの人間力を育みます。
食文化の継承と創造	伝統料理を未来へ継承し、また新しい食文化を創造します。
子どもから高齢者まで「スポーツあふれるまち」の構築	多くの地区民がスポーツ施設を活用し、スポーツあふれるまちにします。 誰でも気軽にできるウォーキングで健康なまちをつくりまします。 地区内のスポーツ施設を活用してヘルスツーリズムを推進します。

地域がどこまで 踏み込むこと・関わることができるか

【民生児童委員協議会より】

「自分たちは支援を必要とする方達から相談されるが、それに対して相談するところがない」という発言がありました。また、「地区民から『息子さんが親に暴力をふるっているのではないか』との連絡があり、対応に苦慮した。」との発言がありました。所謂《8050問題》に直面した場面で、この件については、該当区の区長、民生委員さんとともに飯田市福祉課と連携し、解決に向けて動きました。

【太陽学園より】

太陽学園はフリースクールですが、現在では、不登校に関する相談だけでなく《8050問題》に関連するような相談も寄せられています。今後は更に増加傾向になることが予想される。とのことでした。

【地域で何ができるか】

このような社会問題が顕在化した今、将来的には社会構造も益々多様化・複雑化する中で、地域として地域内で問題を共有しながら解決に向けた一助となる活動は何か検討しました。

安心して住み続けられる地域づくり

～まちづくり委員会 重点目標～

令和5年度 松尾地区まちづくり委員会 重点目標

少子化・高齢化が急激に進行し、日本全体が人口減少時代に突入する中において、松尾地区は、先人の努力により、飯田市内でも有数の暮らしやすい地区として発展し、活気ある地区となっています。

飯田市においては、リニア関連道路やリニア駅周辺整備の基本計画が策定されるなどリニア中央新幹線開通に向けた準備が順次進められており、三遠南信自動車道の全線開通と併せ、高速交通網を活用した「リニア時代」が現実のものとして迫ってきていることを実感してきています。

こうした中において、松尾地区では個性的で存在感があり安心して住み続けられる地域づくりを着実に進めるために、令和2年度には第3次松尾地区基本構想を策定し、その実現に向け地域が丸となって積極的に取り組んでいます。特に、子育て分野においては地域の子どもは地域で育てるという信念を持って、これからの松尾を担う大切な子どもを安心して生み育てられる環境整備を進め、あわせて積極的な教育支援等も行っていくために、各教育機関との連携を大切にしながら情報の共有を図ってまいります。また、ウィズコロナ社会を踏まえ、時代に即した自治活動や地域の課題解決に向けた取り組みと自治活動組織の改革改善を推進するとともに、コロナ前の活発な地域コミュニティの再構築を目指します。

松尾地区まちづくり委員会は、このような思いを込めて、次の重点目標を掲げ、各部が協力連携し、全ての地区民の思いを大切にしながら、今年度の活動を推進していきます。

令和5年度 松尾地区のまちづくり 重点目標 ～第3次松尾地区基本構想から～

- ◎あなたと一緒に作る私たちのまち
 - ・松尾への地域愛の醸成
 - ・多様と価値観が共存する、新時代の地域コミュニティの創造
 - ・住んで良かったな、と誇れるまちへの進化
- ◎安全でゆとりのある生活空間の創出
 - ・場々八幡宮や天電川を活かした新たな交流の促進
 - ・リニア時代に向けた伊那市の交通ネットワーク体系における地域内道路網の整備
 - ・通学路、生活道路の安全の確保
 - ・高齢者にやさしい移動方法の確立
 - ・地域資源を活用した心ゆくふる里観光の推進
 - ・工業、地上産業の活性化
- ◎豊かな自然と共存し、きれいで住みやすいまち
 - ・積極的な空き家の活用
 - ・ふるさと川や荒山について「学び」「守り」「楽しむ」
 - ・住民一人ひとりがその役割・役割の意識を持ち、きれいなまち
 - ・歩行者に配慮し、交通事故のない安心して暮らせるまち
 - ・ご近所同士のコミュニティを大切にし、犯罪が起らないまち
 - ・防災意識を高め、住民一人ひとりが助け合えるまち
- ◎人と人がつながり、心身ともに健康な あたかもいま
 - ・いつまでもいきいきと暮らせる健康なまち
 - ・地域で子育てや介護を支えあふ福祉のまち
 - ・子どもが自然の中で自由に遊ぶ場所づくり
 - ・食文化の継承と創造
 - ・子どもから高齢者まで「スポーツあふれるまち」の構築

松尾地区まちづくり委員会では、その年・その時に発生している地域の課題や問題などをテーマに設定し、

【やらまいか松尾推進大会】

を開催。参加者の皆さんと一緒に情報交換を行っています。今年度は、重点目標中の「安心して住み続けられる地域づくり」に主眼をおきました。

やらまいか松尾推進大会

やらまいか松尾
推進大会

入場
無料

こころと命を
ともに支えあおう

「生きづらさ」に寄り添い続けたアウトリーチ（訪問相談）の取り組みから

講演会日時 **7月9日**【10:00～12:00】

テーマ **ともに生きる ～そこに在るもの～**

講師 **有賀 和枝 さん**

■場所 松尾公民館 ホール
■対象 一般の方、アウトリーチの担い手の方、どなたでも大歓迎です。
■定員 100名（ただし、お前にお申し込みが必要ですよ）

問い合わせ 申し込み先 **松尾自治振興センター**
TEL.0265-22-0091
Fax.0265-23-7830
E-mail:matue@city.tida.nagano.jp

■主催 松尾地区まちづくり委員会、松尾地区民生委員協議会
■共催 飯田市福祉課、飯田市社会福祉協議会
■後援 飯田市教育委員会



【講演会の主な内容】

- ・8050問題について
- ・引きこもりについて
- ・子どもの不登校、ヤングケアラーについて

100名を超える参加者・・・関心の高さがうかがえました。

やらまいか松尾推進大会 アンケート結果①

講演会後にアンケートを実施し、以下の結果を取りまとめました。(一部抜粋)

【集計表】

年代	30歳未満	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
	0	3	8	11	27	10	1
情報取得方法	学校のおたより	組合回覧	友人	その他			
	8	16	14	28			
内容について	とても良かった	良かった	普通	悪かった	とても悪かった	無回答	
	46	11	0	0	0	3	
個別相談について	受けたい	受けない	〈直接申込み〉				
	6	54	2				

【講演会の内容について】

- 「聴く」ということはとても深いな…と感じます。聴くことが人との関わりの中で大切なだつとつくづく感じます。これから生きていく中で実践していければと思います。
- 一言では表せないくらいの内容の濃いものでした。人の在り方、世の中の在り方をこの豊かな社会を問う内容でした。その分野について希望が少しもてる気持ちを抱くことができました。
- 模索の毎日、今自分を信じることを後押ししていただいたと同時に自分に何ができるか考えさせられました。

やらまいか松尾推進大会 アンケート結果②

【不登校・引きこもりについて】

- 自分自身不登校児の親であり、支援活動を仲間としている。自分自身と向き合いながら同じような悩みの方と関わらせていただく、そんな気持ちを改めて思った。民間、行政、地域、学校、家庭それぞれできることを協働していけるといいなと思います。
- 人は人の中で人になる、生まれた時から亡くなるまでずっと人の中で生きているひきこもりはその状態を中断してしまうけど、引きこもりの時も必要。人はいつからでも生き直せるという所を大切に人との関係を続けていきたいと思った。
- 引きこもり状態に近づきつつある青年との関わりの中で、何をしてあげられるのかがずっと頭の片隅にあります。自分が今できる形でできることをやっていくことが、まず大切にできればと思いました。関わりの中で自分自身が学ばせてもらっていると感じることばかりで、先生が同じように話されていたのでとても共感しました。当事者の方が自信を持てず、人と出会えずにいる中で、お互い、ということに気づく機会が得られる一助になればいいなと思いました。
- 生活保護者の就労支援員を経験し、思うようにいかず苦労しました。「信じて、待つ」確かにその通りだと思いました。これからも何らかの関わりで生活弱者の方々に寄り添っていきたく思います。

やらまいか松尾推進大会 アンケート結果③

【保護者より】

○聴くことの大切さ、難しさを改めて感じた。上から目線ではなく同じ人間として聴くことが大切なのかなと思いました。教育現場に関わる一人として、また不登校の子どもを抱える一人の親として聴くことを大切にしていきたいです。

○発達障害の子どもを持つ親です。子どもは不登校だった時は過ぎ、社会人になりました。今はうつ病で仕事を休みがちで不安な日々を過ごしています。しかし、もっと大変な思いをしている人が生きようとしている姿に接することができて、これからの生き方の励みになりました。

【民生児童委員・地域の皆さんより】

○引きこもりの人の対応に迷っていたが、今日の話で勇気もらった。実体験からの話で非常に参考になった。

○訪問しても決して子どものことを話さなかったお母さんが、先日地区のお楽しみ会で声を掛けたら、子どもが発達障害と診断されたことを話してくれました。会う回数が増えると少しずつお話をしてくださり、これからも見守りを続けていきたいと思います。

○制度のはざまを地域がどう埋めていくか、無理のない範囲で何ができるか、それができれば住みやすい愛着の持てる地域になると思います。

今、地域ができること

～解決策を探って～

「やらまいか松尾推進大会」の開催にあたっては、非常に多くの時間を要しました。なぜ、松尾地区が「命に係わる大きなテーマ」を取り上げる必要があるのか葛藤がありました。そして、打ち合わせを重ねる中で、講演会だけでは終わらせてはいけない。という結論が導き出され、講演会だけでなく研修会・相談会なども取り組みました。

可能な限り今後も継続して「求められる支援」を行っていきたいと考えております。

【これまでの取組】

- 7月9日 やらまいか松尾推進大会(講演会)
- 8月3日 民生児童委員協議会向けの研修会
- 9月1日 太陽学園 不登校支援の教員向け研修会
太陽学園 不登校を抱える保護者向け座談会
- 10月5日 民生児童委員協議会相談会
- 11月17、18、20日
個別相談会(申込による)



《民生児童委員協議会研修会の様子》

【私たち】 【地域が】 できること

やらまいか松尾推進大会・講演会のテーマは、「ともに生きる～そこに在るもの～」でした。チラシの中に「こころと命をともに支えあおう」という言葉があります。この「ともに」を意味するモノはなんでしょうか。自分の身の回りの「家族」「友人」「同僚」など多くの人たちのほかに、「地域」も含まれ、明るい未来を感じられるのではないのでしょうか。

ひきこもり、8050問題といった課題は、すぐに解決できるものではありません。何かの課題に対し個人でできることは何事にも限界があります。しかし、皆と一緒にその課題に向けて取り組むことができれば、解決に向けた糸口が見つけやすくなるとともに、地域・行政が共に伴走できる仕組みができるといいなと強く願っています。

私たちは、地域に誰一人とり残さない、「家族の向うに社会の親がいるまち」を目指して、可能な限り取り組みを続けていきたいと考えております。

こころと命を ともに 支えあおう

ともに生きる～そこに在るもの～



ご清聴ありがとうございました



誰もが安心して暮らせる 遠山郷を目指して

福祉活動応援助成金活用団体
南信濃地区 / 遠山郷やらまい会

長野県飯田市

南信濃

【第2次南信濃地区基本構想】

ここで暮らす～住み続けたい、住んで楽しい郷づくり～

●長野県の南端、雄大な南アルプスの山麓に位置。

上村地区と隣接しており、2地区合わせて「遠山郷」と呼ばれる。

●南東は静岡県に接し、現在県境では三遠南信自動車（仮称）青崩トンネルの本坑工事が行われており、今年5月に貫通。
（2027年開通に向けて工事中）

●12月は遠山地区内8つの神社で国指定重要無形民俗文化財「遠山の霜月祭」が行われている。

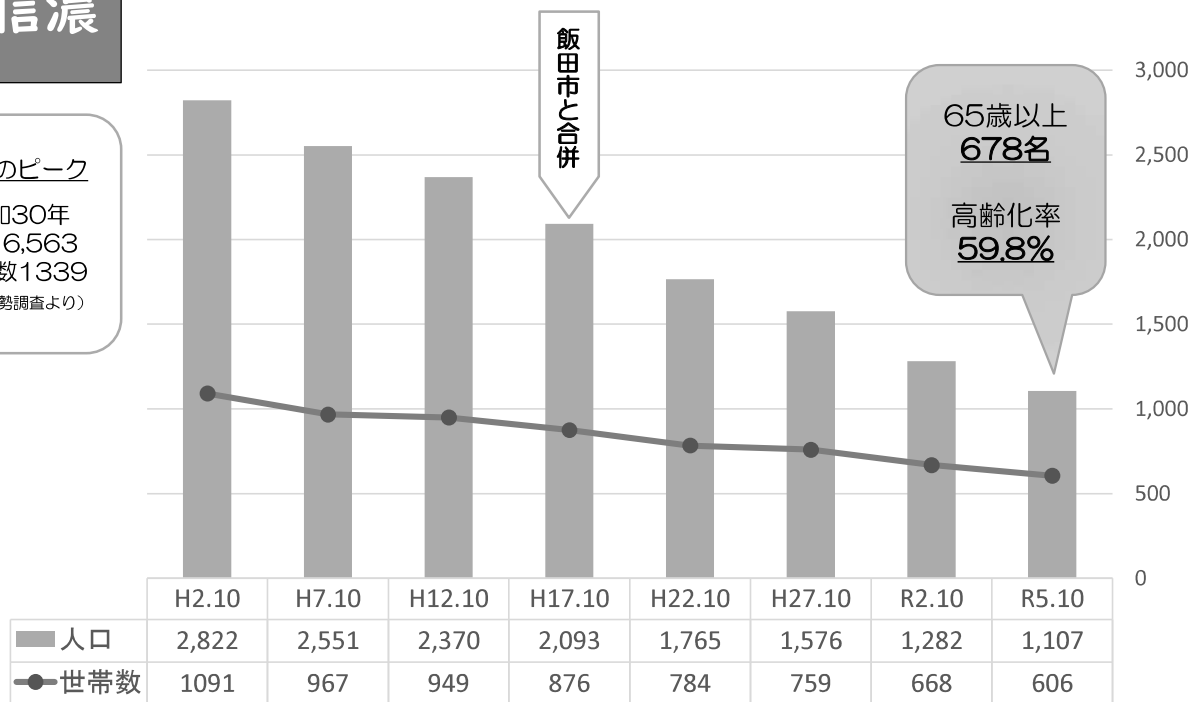


飯田市全体658.66㎡／遠山2地区333.41㎡

人口推移

人口のピーク

昭和30年
人口6,563
世帯数1,339
戸 (国勢調査より)



キーワード



「食」 「得意を活かす」

氏名 片町元彦（かたまちもとひこ）
年齢 ひみつ
出身 南信濃生まれ・南信濃在住
職業 (有)星野屋 代表
食楽工房元家 代表
遠山郷やらまい会 会長 等々

●雪をも溶かす情熱で、遠山郷を盛り上げている●

「遠山郷やらまい会」とは

発 足	平成25年10月
活動目的	①遠山郷地区の人口減少傾向に対して雇用の場を創出し、勤労人口を増加させる ②観光などの地域の発展を図り、産業・経済活動を全国に発信すること ③地域のために「食」でアプローチすること
現在の活動	・登山客に向けたお土産品等の情報発信 ・ジビエ料理メニューの開発 ・地域のお祭りへの参画や、地域と連携した事業を行い、食の支援を行う 等
今後の展望	◎遠山郷を元気に！ 遠山郷がより住みやすい地域になれるよう「食」の楽しさを広める活動を続けていく

「遠山郷食堂」開店までの経緯

🏠 遠山郷やらまい会：市から指定管理を受けて施設（食楽元家）を借りている

遠山郷に向けて社会貢献ができないか…


フードバンクをやってみたらどうだろう！

🌸 社協に相談

「遠山郷食堂」開店までの経緯

とってもいい取り組み！だけど、フードバンクは管理がとても大変…

得意分野「食」を最大限活かせる「地域食堂（子ども食堂）」を始めてみては！！

せっかく始めるなら、地区（まちづくり委員会）も仲間にしたい！

運営資金はどうしよう…

飯田市ボランティアセンター 運営助成金を活用しよう！！

進めるにあたって大事にしたこと

やるからには永く続けたい。

どうしたら？




→ “あせらない” “たのしむ” を念頭に！

さらに “それぞれが得意なこと” を
補い合って実施すること

→ “無理をしない” “息切れしない” 体制づくり

進めるにあたって大事にしたこと

“それぞれが得意なこと” の役割分担

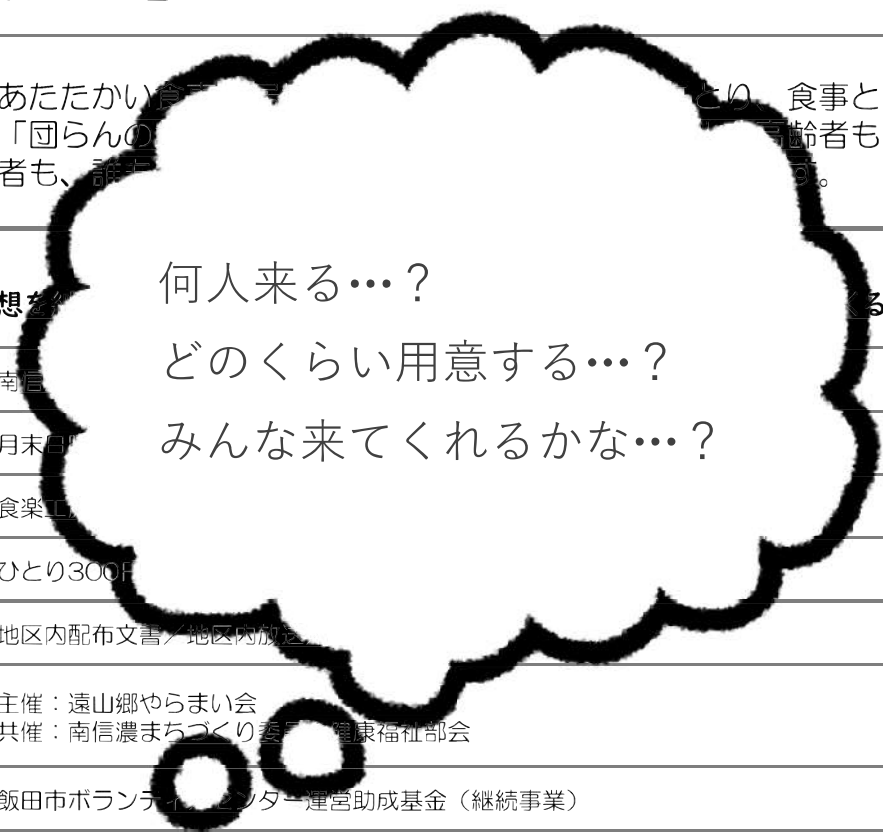
 遠山郷やらまい会	食堂の準備 食堂の運営
 社協	運営資金の助成 食堂への助言
 南信濃まちづくり委員会	運営資金の管理 助成金の申請 広報

「遠山郷食堂」

目的	あたたかい食事や居場所、大勢が集まって食事をとり、食事とともに「団らんの場所」を提供することで、子どもも大人も高齢者も障がい者も、誰もが安心して暮らすことができる遠山郷を目指す。
★第2次南信濃地区基本構想 基本目標2 「福祉の里」構想を継承し、地域福祉・地域医療を地域で考え、助け合う仕組みをつくる	
参加対象者	南信濃地区居住者／こどもから大人までどなたでも
実施日・時間	月末日曜日の夜 ※地区内飲食店の休業日
会場	食楽工房 元家
料金	ひとり300円／高校生以下無料
周知方法	地区内配布文書／地区内放送／SNS 等
実施団体	主催：遠山郷やらまい会 共催：南信濃まちづくり委員会健康福祉部会
運営費用	飯田市ボランティアセンター運営助成基金（継続事業）

「遠山郷食堂」

目的	あたたかい食事や居場所、大勢が集まって食事をとり、食事とともに「団らんの場所」を提供することで、子どもも大人も高齢者も障がい者も、誰もが安心して暮らすことができる遠山郷を目指す。
「福祉の里」構想を継承し、地域福祉・地域医療を地域で考え、助け合う仕組みをつくる	
参加対象者	南信濃地区居住者／こどもから大人までどなたでも
実施日・時間	月末日曜日の夜 ※地区内飲食店の休業日
会場	食楽工房 元家
料金	ひとり300円／高校生以下無料
周知方法	地区内配布文書／地区内放送／SNS 等
実施団体	主催：遠山郷やらまい会 共催：南信濃まちづくり委員会健康福祉部会
運営費用	飯田市ボランティアセンター運営助成基金（継続事業）



「遠山郷食堂」

目的	あたたかい食 「団らんの場」 者も「誰か」 り、食事とともに も高齢者も障がい 者も「誰か」 ます。
<div style="border: 2px dashed black; padding: 10px; font-size: 2em; font-weight: bold;"> よーし、 プレオープン してみまい！ </div>	
「福祉の里」構想を継	
参加対象者	南信濃
実施日・時間	月曜日
会場	食楽工房
料金	ひとり
周知方法	地区内郵便文書
実施団体	主催：遠山郷やらまい会 共催：南信濃まちづくり委員会健康福祉部会
運営費用	飯田市ボランティアセンター運営助成基金（継続事業）

プレオープン！！

🍲 **メインメニュー：夏カレー**



🍷 **サラダバー：スパゲティサラダ**

とうもろこし・すいか など

地元商店さんから
差し入れも
いただきました！



主催：遠山郷やらまい会 共催：南信濃まちづくり委員会健康福祉部会

裏面あり

ふれあいの食堂

遠山郷食堂

2023

7月23日

食楽工房 元家にて
夕方5時から7時まで



参加できる方

南信濃にお住まいの方なら
どなたでも〇(申込不要)



料金

0～18歳(高校卒業まで) … 無料
18歳(高校卒業後)以上 … 300円



メニュー

季節の野菜をふんだんに使用した
元くん特製●●!!!

「遠山郷やらまい会」は、地域への食の支援につながる活動を目指すのひとつとして、日々活動を行っています。
この「遠山郷食堂」では、あたたかい食事や居場所、大勢が集まって食事をとり、食事とともに「団らんの場所」を提供することで、子どもも大人も高齢者も障がい者も誰もがあたたかい気持ちで、安心して暮らすことができる遠山郷を目指します。

お問い合わせ：食楽工房 元家 ☎34-2012 または 南信濃まちづくり委員会 ☎34-5111

プレオープン！！

参加者：48名（含高校生以下19名）
ボランティアスタッフ：7名

参加者内訳

年代（代）	人数
高校生以下	19
18・19歳	1
20代	4
30代	4
40代	7
50代	9
60代	1
70代	3



開店と同時にご来店！！
保育園から小学生までのお子さんと、
お子さんのお友達を連れてご家族



令和5年7月28日付南信州新聞

プレオープン！！



18時30分頃、お店の中はねやねやに！
みんないい顔で食べています

この日のボランティアスタッフ
たのしくやりまい！

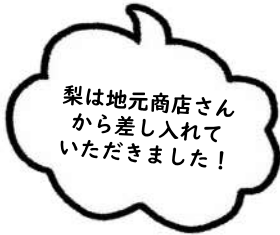


本オープン！！

🍷 メイン：煮込みハンバーグ



🍷 白飯・梨はセルフサービスで🍷



主催：遠山郷やらい会 共催：南信濃まちづくり委員会健康福祉部会

裏面あり

ふれあいの食堂

遠山郷食堂 OPEN 堂

2023

8月27日

食楽工房 元家にて
夕方5時半から7時半まで

※この時間帯なら、いつでもどうぞ！



参加できる方

南信濃にお住まいの方なら
どなたでも〇(申込不要)



料金

高校生以下 … 無料
おとな … 300円



メニュー

〜こりゃたまげーた！〜
元くん特製びっくりハンバーグ!!!

※この日は元家の通常メニューはごまいたいただけません
※メニューは急遽変更になることもあります

「遠山郷やらい会」は、地域への食の支援につながる活動を目標のひとつとして、日々活動を行っています。

この「遠山郷食堂」では、あたたかい食事や居場所、大勢が集まって食事をとり、食事とともに「団らんの場所」を提供することで、子どもも大人も高齢者も障がい者も誰もがあたたかい気持ちで、安心して暮らすことができる遠山郷を目指します。

お問い合わせ：食楽工房 元家 ☎34-2012 または 南信濃まちづくり委員会 ☎34-5111

本オープン！！

参加者：56名（含高校生以下24名）
ボランティアスタッフ：8名

●プレオープンとの変更点

- ・実施時間の変更
[開始と終了を30分うしろへ]
- ・アンケートの実施

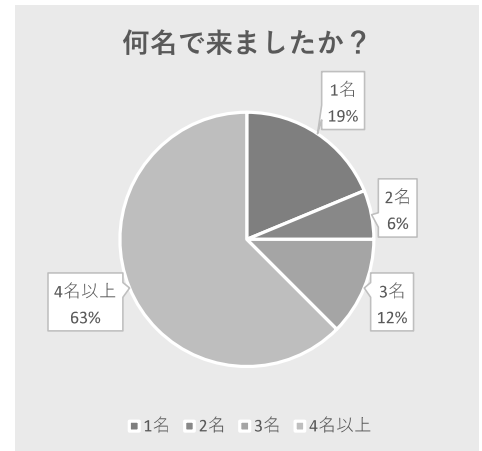
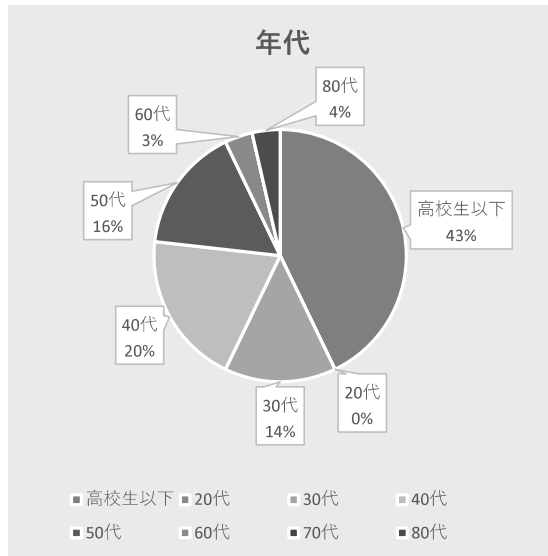


本オープン！！

参加者：56名（含高校生以下24名）

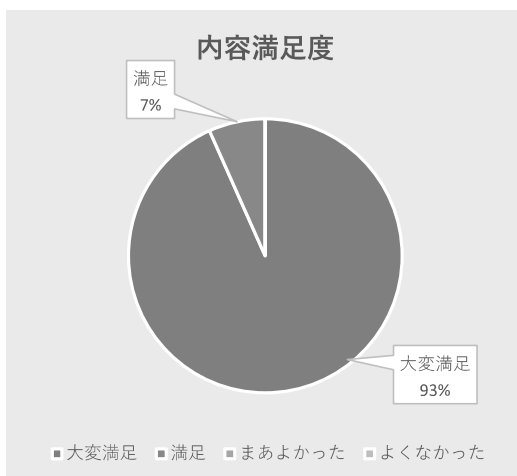
参加者内訳

年代（代）	人数
高校生以下	24
20代	0
30代	8
40代	11
50代	9
60代	2
70代	0
80代	2



本オープン！！

参加者：56名（含高校生以下24名）



感想

- ・おいしかった
- ・とてもすばらしい取り組み
- ・老若男女問わず利用できる
- ・ひとりで暮らす方には大変うれしい事業
- ・長続きしてください
- ・月イチあるとうれしい
- ・次回も楽しみ
- ・バイクがあったらうれしい
- ・おかわりしたかった
- ・大人だけでも来やすい
- ・雰囲気がとてもよい

今後の予定



令和5年度

・12月17日(日)「クリスマス特別メニュー」

*上村まちづくり委員会健康福祉部会の協賛を得られたため、上村地区の方も参加対象に!

・2月25日(日)



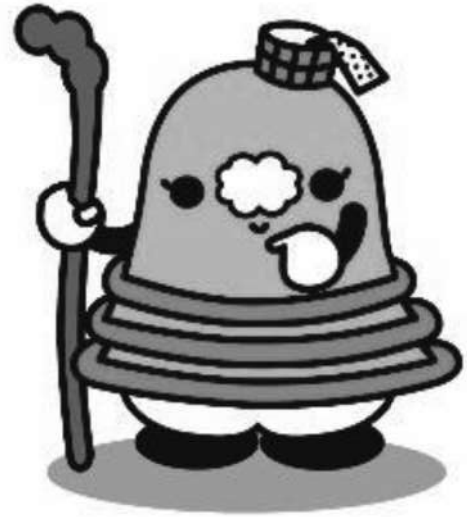
令和6年度以降

・年4回(季節ごと)実施予定

今後に向けて

- ①人数の把握がむずかしい
- ②持ち帰りの是非
- ③来店したいが手段が無い方へ

御清聴ありがとうございました❄



総務課

総務係

〒395-0024 飯田市東栄町 3108-1 さんとびあ飯田 2 階
TEL 0265-53-3040/FAX 0265-53-3186

・介護予防拠点(おまめでサロン)

〒395-0024 飯田市東栄町 3137-2
TEL 0265-48-5206/FAX 0265-48-5207

地域福祉課

地域福祉推進係

〒395-0024 飯田市東栄町 3108-1 さんとびあ飯田 2 階
TEL 0265-53-3181/FAX 0265-53-3183

- ・ファミリーサポートセンター TEL 0265-53-3181
- ・ボランティアセンター TEL 0265-53-3182
- ・飯田市結婚相談所 TEL 0265-53-3181
- ・遠山支所

〒399-1311 飯田市南信濃 1550
TEL 0260-34-5591
FAX 0260-34-2102

生活相談支援係

・飯田市心配ごと相談所

〒395-0024 飯田市東栄町 3108-1 さんとびあ飯田 2 階
TEL 0265-53-3180/FAX 0265-49-8692

・飯田市生活就労支援センター(まいさぼ飯田)

〒395-0024 飯田市東栄町 3108-1 さんとびあ飯田 2 階
TEL 0265-49-8830/FAX 0265-49-8692

権利擁護支援係

・いいだ成年後見支援センター

〒395-0024 飯田市東栄町 3108-1 さんとびあ飯田 2 階
TEL 0265-53-3187/FAX 0265-53-3183

・日常生活自立支援事業

〒395-0024 飯田市東栄町 3108-1 さんとびあ飯田 2 階
TEL 0265-53-3187/FAX 0265-53-3183

地域包括支援係

・いいだ地域包括支援センター

〒395-0031 飯田市銀座 3 丁目 7 銀座堀端ビル 2 階
TEL 0265-56-1595/FAX 0265-56-5505

・いがら地域包括支援センター

〒395-0155 飯田市三日市場 406-31
TEL 0265-28-2361/FAX 0265-28-2362

在宅サービス課

〒395-0024 飯田市東栄町 3171-1
TEL 0265-49-8173/FAX 0265-53-7576

在宅サービス係

・社協介護相談センター

〒395-0004 飯田市上郷黒田 360-4 高松ビル 1 階
TEL 0265-53-7581/FAX 0265-48-0413

・社協ヘルパーステーション

〒395-0024 飯田市東栄町 3171-1
TEL 0265-53-2035/FAX 0265-53-7576

通所事業係

・上郷デイサービスセンター

〒395-0002 飯田市上郷飯沼 2212-1
TEL 0265-53-4811/FAX 0265-53-4855

・竜東デイサービスセンター

〒399-2603 飯田市下久堅知久平 123
TEL 0265-29-8189/FAX 0265-29-8199

・北部デイサービスセンター

〒395-0004 飯田市上郷黒田 2112-1
TEL 0265-53-8155/FAX 0265-53-8815

・いいだデイサービスセンター

〒395-0024 飯田市東栄町 3171-1
TEL 0265-53-7571/FAX 0265-53-7576

施設サービス課

・飯田荘(ゆとびいいだ)

〒395-0024 飯田市東栄町 3137-2
TEL 0265-23-7888/FAX 0265-53-3451

・第二飯田荘

〒395-0024 飯田市東栄町 3171-1
TEL 0265-53-6677/FAX 0265-53-5855

遠山地域事業課

・遠山荘

〒399-1311 飯田市南信濃和田 1550
TEL 0260-34-5522/FAX 0260-34-5582

遠山地域在宅サービス係

・南信濃地域包括支援センター

〒399-1311 飯田市南信濃和田 1550
TEL 0260-34-1066/FAX 0260-34-2102

・南信濃介護相談センター

〒399-1311 飯田市南信濃和田 1550
TEL 0260-34-1062/FAX 0260-34-210

・南信濃ヘルパーステーション

〒399-1311 飯田市南信濃和田 1550
TEL 0260-34-2461/FAX 0260-34-2102

福祉の里推進係

・南信濃デイサービスセンター

〒399-1311 飯田市南信濃和田 1550
TEL 0260-34-2106/FAX 0260-34-2102

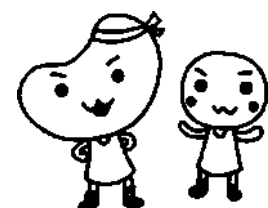
・南信濃障がい者等活動支援センター(つくしんぼ)

〒399-1311 飯田市南信濃和田 1556
TEL 0260-34-2856/FAX 0260-34-2856

・南信濃高齢者共同住宅

〒399-1311 飯田市南信濃和田 1550
TEL 0260-34-2681/FAX 0260-34-5582

おマめで体操イメージキャラクター



マメ太郎 マメ子